

## 都産技研を活用した「世界に勝つものづくり」

平成 26 年度は、都産技研の最新設備と技術シーズを大変多くの中小企業にご利用いただくことができました。依頼試験は前年度並みの約 15 万件ですが、機器利用が 10%増の約 13 万件となりました。ものづくりを行う中小企業の仕事は増えていると感じていますが、円安で好調の大企業と比べると、中小企業は原材料高などで利益まで結びついていない状況です。

こうした中、都産技研は開発型中小企業の支援を一層強化すべく、平成 26 年 4 月、本部に「ロボット開発セクター」を、12 月には城南支所に「先端計測加工ラボ」を新設し、研究の強化と試験の高度化等を進めました。また、中小企業の海外進出支援強化の一環として、平成 27 年 4 月バンコク支所を開設いたしました。以下ではこれらの活動の概要を紹介いたします。

### 1) ロボット開発セクターの開設

ロボット開発セクターでは、移動ロボットの基盤である「T型ロボットベース」を開発し、「案内ロボット」や「おもてなしロボット」などの中小企業のロボット開発に貢献してまいりました。この平成 27 年度からは、東京オリンピック・パラリンピック開催も見据えて、東京のロボット産業を発展させる「ロボット産業活性化事業」に取り組んでまいります。研究開発のみならず、開発・評価用設備強化、人材育成強化等、ロボット産業の活性化を進めてまいります。

### 2) 先端計測加工ラボの開設

先端計測加工ラボには、医工連携産業支援、航空機産業支援をテーマに、最新機器 24 機種を取り揃えました。既存の光造形装置や三次元レーザー加工機に加え、新たに熔融積層型造形装置等を配備し、航空機等に多く用いられる自由局面を持った部品を金型を使わずに造形可能とするなど、試作品の製作支援をより充実させました。皆さまの積極的な利用をお待ちしております。

### 3) バンコク支所の開設

ASEAN 地域での日系中小企業に対する技術支援拠点としてバンコク支所を開設しました。本支所に機器等の配備はできませんが、3 名の職員が常駐し、日本国内の研究員とも連携して、日系中小企業の技術相談（無料）、現地工場での技術指導、現地での技術セミナーなどを行います。ASEAN に工場を展開されている中小企業におかれましては、まずはこのバンコク支所の存在を現地にお知らせいただきますようお願い申し上げます。

このように、都産技研は引き続き研究開発の強化、機器の高度化を図り、中小企業の「世界に勝つものづくり」を支援してまいります。中小企業の皆さまには、従来にも増して積極的なご利用をお願い申し上げます。

平成 27 年 6 月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

理事長 片岡 正俊